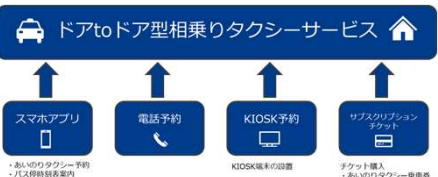


相乗りワゴンサービスと住民・島出身者向けの新たなサブスクリプション サービス実証事業

地域住民のラストワンマイル交通の確保や、新型コロナウイルス感染の危険性の低い観光時の移動手段の提供を実現するため、乗合型のオンデマンド交通を導入するとともに、その他公共交通機関や観光施設との連携を図る。

協議会の 構成員	【幹事】ジョルダン(株)、宮古島市、(一社)沖縄県タクシーハイヤー協会、 (株)オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社、(一社)宮古島観光協会、 (株)エクトラ、フェリカポケットマーケティング(株)	
地域課題	● ラストマイル交通の不足等公共交通の利便性の低さ ● 観光客の増加を背景として、レンタカー利用増による交通渋滞・交通 事故の発生や、公共交通のキャパシティ不足 ● 新型コロナウイルスに対応した観光サービスの整備の不十分さ	
取組の概 要	期間	2021年1月25日～3月15日
	エリア	沖縄県宮古島市内全域
	MaaS システム	MaaSアプリ「がんずあいのりタクシー」を独自に構築
	交通 サービス	● 乗合型オンデマンド交通「がんずあいのりタクシー」運 行 ● 「がんずあいのりタクシー」予約・決済機能の提供(高 齢者向けに架電やKIOSK端末からの予約も可能) ● 路線バスと「がんずあいのりタクシー」のデジタルフリー バス販売 ● 宮古島外在住の方が、宮古島に住む家族の「がんず あいのりタクシー」運賃を負担できるサービス「みまもり 家族運賃ギフトサービス」や、家族で利用すると運賃 の割引を受けられることができる家族割、親子割サービ スの提供
	交通以外 のサービス	● 「がんずあいのりタクシー」のチケットと観光施設のチ ケット飲食店の食事券等が複合したデジタルの企画 乗車券の販売 ● 店舗等のデジタルクーポンの配信
検証内容	以下の検証内容から、「がんずあいのりタクシー」本運用に向けた課題を 整理 ● 「がんずあいのりタクシー」の利用者の属性・頻度などの集計・分析 ● 「がんずあいのりタクシー」のデジタルチケットや企画乗車券等の設定 料金の適正度の調査 ● 乗降場所ログによる集計・分析 ● 免許自主返納者の「がんずあいのりタクシー」の利用状況の検証	

取組イメージ	
MaaSを通じて提供している観光客向けサービスのイメージ	
	
がんずあいのりタクシーの予約・購入手段	がんずあいのりタクシーアプリの利用画面
	
検証結果	
● 電話予約の場合、オペレーターが操作する部分において住所だけで場所判断はつかず住宅地図が必須である ● 上記同様、運転手が予約を確認する場合、住所では判断がつかず詳細な地図が必要である ● タクシー業務と併用の場合、運行管理が必須となる（ドライバーが休憩中により予約に気づかないなどの問題が発生） ● 予約を受ける車両（ドライバー）の予約受付意思確認が必要である（今回はタクシー無線にて代用） ● 車両（ドライバー）とオペレーターとの通話連絡手段は必須となる ● 車両（ドライバー）と利用者の連絡手段は検討すべきである。（実証中は全てオペレーター経由とした） ● 地方の場合、特に運転手と乗客が紐づいている場合がある ※この運転手じゃないと乗らないなどの問題が発生したことから、ドライバーの顔が見えるような仕組みの必要性について、検討すべきである	
今後の方向性	
● 検証結果を踏まえ、本運用に至るための課題の可視化が出来た。今後の本運用においては、“ビジネス”としての設計をすると同時に高齢者向けの社会福祉の面が強く出ると推測される。アンケート結果から、高齢者の外出機会を創出することができ、健康面や精神面などのフォローが可能になるということが大きな社会問題の解決につながると確信できた。今後の取り組みに当たって、“ビジネス”部分の補填を誰がどのようにしていくのが“無駄”な出費を省くことになるのか、行政・民間を超えた検討が必要であり、早急な対応が可能という結論に至った。	